

2020(令和2)年度 法学類演習シラバス(掲示用)

授業科目名: 法理学演習	担当教員名〔ローマ字表記〕: 足立 英彦〔ADACHI Hidehiko〕	
曜日・時限:	対象学年: 3・4年	募集人数: 12名
授業の主題・目標: 正義を考える		
<p>授業内容:</p> <p>法は正義そのものではありません。ある人にとっては正しい法が、他の人にとっては不正義そのものであるかもしれません。しかしながら、どんな法であっても、それが「法」と呼ばれるに値するものであるならば、何らかの正しさの理念を掲げていなければならないのではないのでしょうか。ドイツ語で法を意味する Recht には「正しい」という意味がありますし、漢字の「法」の三水は、水面のような公平性を意味しています。ある規範が「法」と呼ばれるために最低限満たさなければならない基準のようなものはあるのでしょうか。仮にあるとするならば、それはどのようなものなのでしょうか。そもそも「正義」とは何なのでしょう。人によって意見が違うことは確かですが、私たちはそれで満足できるのでしょうか。個々人に異なった正義があると諦観してしまってもよいのでしょうか。</p> <p>2020 年度の法理学ゼミでは、「古典的学説・学派から最近の論点や理論まで、正義論の基本をわかりやすく説明したうえで、貧困・格差や環境破壊などの現実問題に正義論がどのように応用されるのかを論じている(出版社の紹介より)宇佐美誠ほか編『正義論: ベーシックスからフロンティアまで』を皆さんと一緒に読み、正義とは何なのかについて考えたいと思います。そのあとで、各自の関心に従って研究内容を選び、研究を進め、報告をしていただきます。人数が多ければ、グループ同士でのディベートのようなこともしてみたいと思います。</p> <p>「正義」は、法理学＝法哲学の中心的なテーマの一つですが、私の講義では時間の制約のためほとんど扱うことができません。ですので、ゼミで皆さんと一緒に正義について考えてみたいと思っています。</p>		
教科書・教材: 宇佐美誠ほか編『正義論: ベーシックスからフロンティアまで』(法律文化社, 2019 年)	参考書:	
関連科目: 政治思想史	評価の方法: 「出席」「報告の内容」「討論への参加」「レポート」を総合して評価します。	
履修上の注意事項や学習上の助言: 年度末に3回生にはゼミレポート, 4回生には卒業論文を提出していただきます。		
<p>学生からの演習に関する質問への対応方法:</p> <p>1 随時可能 2 オフィスアワー(曜日:火曜 時間: 12:00~13:00) 3 E-mail(hadachi@staff.kanazawa-u.ac.jp) 4 電話(076-264-5383) 5 その他()</p>		
受講者数調整方法: 定員を超えた場合は志望理由書に基づき選抜します(が、これまで定員を超えたことはありません)。		